

神戸医療福祉専門学校中央校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和5年6月10日実施】

令和4年度自己点検自己評価(令和4年4月1日～令和5年3月31日)による

項目	点検項目	自己評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	教育理念・目的・養成人材像は、明文化されており、事業計画に目標・方法等を具体化している。会議や研修等においては、理念等の徹底をしている。常に業界とのコミュニケーションを図り、産学協同での教育を心がけている。業界が求める人材像を明確にするとともに、教科目標・教育課程・授業計画等の策定に活用している。事業計画では「地域連携」「業界との連携」を掲げ、特徴ある教育プログラムを構築し、変化する社会に対応するために、中・長期の事業計画を策定し、毎年見直しをしている。今後は、教育をとり巻く環境変化や学生の質的变化に対応するため、地域における活動や業界との連携を深めつつ、カリキュラムにはキャリア教育の実践を盛り込んだ内容を加え、さらなる職業人教育の質を高めていく。	職業人教育を通して社会に貢献することをミッションとし、3つの建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)の実践、4つの信頼(学生、保護者からの信頼・高等学校からの信頼・業界からの信頼・地域からの信頼)を得られる様に学校運営する中で、各業界のニーズに即した人材育成を行っている。	4	・いっつもながら滋慶グループの学校として、中・長期の目標設定、計画に従って進められていることに感服いたします。 ・理念がしっかりと浸透しており、教員、学生ともにそれに沿って実践、行動できています。 ・適切。社会と業界のニーズに即している点。 ・適切である。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・これから人材育成に力を入れて頂きたい。
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	法人としては、事業計画・運営方針を定めることを重要視している。運営方針は学校事業計画書に理念、目標、具体的な計画等と関連づけて明文化している。	事業計画の構成は組織目的(普遍的に学校が目指す開校、組織運営の目的)、運営方針(中期的に組織として目指す方針)、実行方針(中期的な組織の運営方針を実現する為の単年度の方針)、定量的目標(入学者・教育成果<中退防止・国家試験合格数>・就職率等)、定性的目標(人材育成や組織のあり方等単年度目標)、実行計画(その方針を実現させる為の具体的な計画)、組織図、職務分掌、部署ごとの計画・スケジュール、意思決定システム、収支予算書(5か年)で毎年作成している。	4	・学校運営についても、しっかりと定量的、定性的目標が定められ、計画的に進められていることが立派です。 ・事業計画を落とし込んで、明文化され行動の指針とされています。 ・適切。すべての教職員が理解している点。 ・適切である。 ・問題ありません。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・理念に沿った運営方針があり実行している。
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか		毎年、業界のニーズに対応した事業計画・運営方針を作成するように努め、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいる。			
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	運営のための組織図・職務分掌・会議の目的と主催者(決定権者)は事業計画に含まれており、会議・研修で共有している。会議、委員会等の議事録は開催毎に作成し、関係者に共有をしている。組織運営のための規則・規定を設け、運用に不足がある場合は、運営会議で検討し改正を行っている。	職員の職場に関するアンケートやストレスチェックを実施。職場安全推進委員会も発足し、職場環境の整備にもあたっている。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けて職場環境の改善にも着手している。学校運営に必要な組織体制は整っており、今後も各部署間連携を活性化し可視化することで新たな方向性も模索していきたい。	4	・組織図を共有し、指示命令システムを遵守されています。 ・職員のストレスチェックやアンケート等で風通しの良い職場づくりをされています。 ・適切。組織体制が整っている点。 ・働き易い職場環境を今後も保って頂ければと思います。 ・良く取り組まれていると思います。 ・あたらしい委員会の発足もあり、今後に向けて改善に取り組んでいる。 ・学校職員のエンゲージメントは、対職場、学生、学生親族の影響があり、他の職場に比べ、対人ストレス原因が多々あると思う。離職者の理由なども開示があれば、より良い。
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか		人事・給与に関する制度も就業規則に明示されている。			
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4	意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で主催者に権限は委譲されている。	月に一回、運営会議・全体会議・学科・広報会議を実施。また目的に合わせて随時会議を開催している。問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できている。また学校運営を円滑に進めるに、教職員のスキルに応じた各種研修プログラムに積極的に参加し、チーム組織全体の底上げを図っており今後次世代育成を早期に着手していく。	4	・内容を精査して会議を実施されています。会議は出来るだけ時間厳守でお願いします。 ・適切。月1回の運営会議の開催。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	システムは、学生・入学者・卒業生・実習先・就職先等の対象別、教務・就職・広報等の業務別において幅広く導入されている。学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の管理、その結果としての業務の効率化が推進されている。	業務の効率化と同時に、学生一人ひとりの情報を一元管理することにより、学生への様々な支援や求められる人材の養成や国家資格取得に結びつけることが出来る。その学生支援の精度を今後更に高める必要があると考える為、DX推進の稼働に着手し、授業の補助教材として配布資料と動画、小テストの実施なども提供している。	4	・ICTを利用して情報管理を効率化しておられます。時間がどんどん進みますので研究を続けて下さい。 ・適切。業務が効率化されている。 ・問題ありません。時代に合った対応で何よりです。 ・良く取り組まれていると思います。 ・データ管理されている。 ・適切である。
	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成方針、実施方針を定めている。編成方針や実施方針はディプロマポリシー(DP)やカリキュラムポリシー(CP)に反映させている。修業年限に応じた教育到達目標については科目間の関係性を重視し、カリキュラムマップを作成し明確にしている。	修学2～3年間の流れや目標(教育課程)を入学前教育時から説明し、各学年時における授業開始前のオリエンテーションにて修学2～3年間、各学年時の目標を説明している。	4	・しっかりとした教育課程を編成されています。 ・適切 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・方針を明確化することにより、目標達成を目指している。 ・適切である。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					

3 教育活動	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い教育課程の編成をしている。 将来、業界から求められる人材に必要な知識・技術の養成についてステップアップ(階段式)形態で初年度(1年次)より段階を経て基礎から応用実践までを編成している。	近年、カリキュラムに各校独自の特色を出すことも望まれており、各学科ともに総合演習や実技指導などにて卒業生の出講や、業界また他業種の方々により講義を実施している。	4	・卒業生を派遣しておりますが、卒業生にとってもとても良い学びとなっています。 ・適切 ・卒業生の出講により学生の方々のモチベーションアップに繋がることを願っています。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・業界を利用することにより学生の達成目標を明確化している。 ・適切である。
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	業界団体の学会・会合等への参加、業界開催の研修内容等の把握より業界や社会のニーズの把握に努め、教育に反映させている。 学校関係者評価委員構成メンバーのうち保護者や業界団体からの意見を聴取し、学校及び学科にて協議している。	社会的ニーズを教育内容に反映させるため、講義・演習にて卒業生の講義や実技指導などを積極的に実施している。 求人先の施設・治療院などからも現在の求められている知識・技能について情報収集を行っている。 現行の教育課程において概ね良い評価を頂いている。定期的に開催される評価委員会や業界団体等からの意見や社会的ニーズを卒業生などから聴取し、教育課程への反映を検討したい。	3.7	・教育課程について、今後ますます業界団体からの意見、社会的ニーズを反映し、さらによりものへと発展させて頂きたい。 ・評価委員会に参加しておりますが、形骸的にならず、良い場になっております。 ・適切 ・問題なし、 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・情報収集、意見の反映は良いと思う。その情報収集が偏っていないかの精査はされているのか。
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	4	キャリア教育に対する考え方やフレームを「キャリア教育ロードマップ」として作成し、キャリア教育に取り組んでいる。 実習や学外研修で職業人としての自覚や態度を涵養しつつ、専門知識・技術を生かすためのコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける指導を実施している。	働くための知識・技術と社会人基礎力を踏まえたキャリア教育の充実が求められている現在、コミュニケーション能力は重要なポイントであると考えている。実習前後や普段より個別面談を実施し、振り返りを行うことで教育効果を上げている。特にコミュニケーション能力に問題がある場合はその状況(状態)の把握、学生自身によるその状況の認識、それによって発生する問題点、改善方法、目標を提示しながら進めることで、一様の成果が現れるケースもある。 キャリア教育の目的である社会的・職業的自立に必要な資格取得や対人援助職としてのコミュニケーション力などの基盤を実習や演習など様々な場面にて設定し教育を行っている。	4	・職業人教育を育成する学校として、目標をしっかりと見据えた教育をされています。 ・適切。 ・社会人基礎力、コミュニケーション能力は、年々低下した方への入職が目立ってきています。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・適切である。
	3-9-4 授業評価を実施しているか	4	学期終了時に科目毎に授業に対するアンケートを実施している。アンケートは科目担当者へフィードバックし、より質の高い教育を目指し反映させている。	評価委員会でのご意見を踏まえ、講師を含め、授業評価を実施している。 また、アンケート結果については非常勤講師へもフィードバックを行い、質の向上を図る。	4	・アンケートのフィードバックがとても良いと思います。 ・適切。 ・実際のアンケート結果も拝見してみたいです。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・非常勤へのフィードバックを行うことにより向上が図られている。・適切である。
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価や単位認定の明確な規定が学則や履修規定・試験規定により明文化されており、教員・学生ともに周知されている。 また学生に対しては各学期開始前のオリエンテーションにて再確認を実施している。	定期試験の結果が国家試験出題範囲の理解となるような評価方法を検討するよう心掛けている。 既に定期試験に関しては国家試験に準じた選択問題を取り入れており、客観的な評価の実施を目指しているが、思考力・表現力・文書力等の評価が難しくなる面を持ち合わせている。 認定実技審査などを実施し、外部評価者による技術レベルの評価を行っている。	4	・国試対策がとても重要だと思いますので、日頃の授業から学力の底上げをよろしく願います。 ・適切。国家試験の向上(100%)。 ・問題ありません。 ・適切である。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・選択問題を強化するのみでなく、対人援助職としての思考、表現力なども今後強化が必要と思われる。
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	学生便覧等に卒業後に得られる受験資格について明記されている。 また、養成課程目標とする資格取得のために養成施設指定規則に定められた時間数以上の授業時間を確保している。 最終学年では国家試験合格に向けた年間タイムスケジュール作成や個々の学生の弱点科目(項目等)の把握に努め、到達状況の確認、指導を実施している。	1・2年次より国家試験を意識した授業を実施している。 また、2年次では放課後学習会やオンラインシステムを活用した授業、ST(ステューデント・ティーチャー)制度を導入し、個別指導の徹底を図っている。 最終学年で実施される模擬試験等の結果より資格・免許取得への状況を個別面談を実施、指導している。	4	・学生も資格取得というモチベーションがありますので、一緒に目指し易いと思います。しっかりと伴走してあげて下さい。 ・模擬試験、質を上げて増やす。 ・問題ありません。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・国試合格を意識することは大切である。 ・適切である。
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」の規定に基づき教員人数は充足している。 新入職の兼任教員には、グループ校で講師研修、専任教員はFDマイクロレベル研修や公開授業を実施して、スキルアップを図っている。 専任教員においては国家試験対策研修会など様々な研修会への積極的な参加を促している。	教育力向上に向けて、学園グループのFD研修(ミドルレベル・マイクロレベル)を受講し、より質の高い教育を目指していきたい。専門性が高く、幅広い医学的知識を必要とするため関連セミナーや学会への参加を促している。 教育理念を達成するために学科事務局組織を編成し、会議を実施し体制を整備している。 また年度初めには各部署にて事業計画を作成し共有することで組織運営を実施している。	4	・教育者の質の向上は、学校の質、学生の質に直結しますので、お忙しいと思いますが学びを続けて下さい。 ・適切。 ・問題ありません。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・適切である。
	3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか					
	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	卒業生の就職内定率について、令和4年度介護福祉士科は100%(100%)、鍼灸科は94.7(86.7%)という結果を残している。()内は令和3年度	常に学生が求める就業先からの求人を得るために求人依頼を発送し、学生との面談を実施して希望就業の把握に努めている。 令和4年度は、模擬面接の機会を増やした。また、コロナ禍での就職活動となったため、事業所と学校を繋いだweb面接に参加する学生が数名いた。 就職活動へ早期に導き、モチベーションアップにも繋げるため業者による就職に関する特別講義を実施した。	3.9	・学生に受験頂きましたが、先生方からの指導が行き届いていると感じました。 ・適切。就職最終100%立派。 ・問題ありません。 ・しっかりと取り組まれていると思います。 ・国師合格及び就職は大切なポイントである。今後も内定率の向上が大切である。 ・学生の将来像に合った就職先を複数の選択肢を持って活動できる数が集まっているか。

4	学修成果	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4	令和4年度国家試験の合格率は以下の通りである。 介護福祉士 94.2%(100%) はり師 新卒77.8%(85.5%)、既卒25.0%(9.8%) きゆう師 新卒77.8%(85.9%)、既卒40.0%(8.9%)	入学した全ての学生に目指す資格を取得させるという学園・学科のミッションを達成すべく、個々の学生に合わせた指導体制を強化する必要があると考える。目標達成には初年度教育の充実、また保護者の協力が必要となっている。コロナ禍により従来の放課後補習ができなかったため、WEBツールによる学習フォローを実施したが、WEBツールによる学習は個々によるものであり、現状把握による危機感や緊張感の集団的作用が薄れる傾向が観察できた。 実施方法や導入時期など面検討が必要となる	3.9	・コロナが5類に移行し、今後は放課後補習など充実させられることを期待しています。 ・危機感や緊張感の欠如が合格率に直結するとのことですので、細やかサポートをお願いします。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
		4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4	卒業生の活躍は就業先からの評価や役職への登用、独立開業者の増加、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考える。 前年度、前々年度卒業生の動向の確認などを定期的に実施していることから把握していると考ええる。	就業先において役職への登用や起業した卒業生へ講師依頼を行い、WEBによる講義・演習等を実施している。	4	・卒業生の活躍が在校生によく伝わり、自身のモチベーション・アップに繋がっていると思います。 ・管理職は苦労もありますが、遣り甲斐も大きいのでその事を伝える場はありがたいと思います。 ・適切。 ・良く取り組まれていると思います。 ・問題ありません。 ・学生ヘフィードバックする授業をされている。 ・適切である。
5	学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	就職支援機能を学科内に置き、専任教員が学生への就職支援相談を実施している。	就職支援に関しては関係する法規やマナー、面接技法などを授業で指導している。 また就職に関する調査アンケートを個別に実施し、就職相談や求職依頼に活用している。	4	・法規やマナーの教育は、就職後、大変本人たちの助けになっていると思います。 ・適切。結果が出ている。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
		5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	退学は毎年、発生しているが年度によりその数は異なる。退学率の低減に向け様々な取り組みを実施している。令和4年度のDO率は介護福祉士科・鍼灸科で、目標値であった4%の実績となった。	退学の理由としては学力不振が最も多いが、近年では学力不振の背景に心理的な課題や目的意識の喪失が伺える。 退学率の低減のために学生個人の特性を把握することを目的にサポートアンケートを実施している。サポートアンケート結果は学生個別面談への活用や日々の学生動態と照らし合わせ、学生の変化を察知できるよう努めている。 近年、ストレスマネジメント(コントロール)できない学生も増えてきていることも踏まえ、スクールカウンセラーなどの専門職を活用し退学防止に向けた取り組みを行っている。実習や定期試験、また連休明けなどのメンタル不調に陥りやすい時期に個人面談を設定して、学生の状況把握を行っている。	3.4	・目標に達成しているがOになっていないとのことで、是非、入学者全員を卒業生として送り出せるように引き続きご支援を宜しくお願いします。 ・ほぼ適切。(4%以内達成は立派) ・具体的にストレスコントロール出来ていない学生はどの様に仰っているのでしょうか。 ・良く取り組まれていると思います。退学者「O」は難しいと思います。自己評価が厳しいかと。 ・今後も退学率を下げるのが大切ではあるが、限りなくOに近くする様に努力している。学力、精神面などのフォローが今後も大切であると感じる。 ・退学者を出さないことと就職先での学校のイメージとの天秤が難しいところだと思う。
		5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4	学習面、メンタル面・健康面、経済的な問題などの相談を各所で受け入れる体制を整備し、有効に機能させている。必要な学生には、学内のスクールカウンセラーを利用。カウンセラーと教職員がチームとしてアプローチし、問題の解決にあたっている。 留学生に関しては全員国家試験合格済。2023年度在在校生の留学生2名は既にN1・2資格取得済み。	学生の多様な問題に対応するため、サポートアンケートの活用、教職員のスキルアップ研修、カウンセラーとクラス担任との連携の強化などを行う。 最近スクールカウンセラー(相談室)の利用希望者も増えており、利用によりモチベーションの向上が得られたケースも認められている。 留学生に関しては、教育における個別支援が必要な者はいないが、学生生活上における事務手続きなどは個別支援を実施している。	4	・大人と同様、学生(子ども達)もストレスの多い社会ですので、メンタル面の不調を見逃さずサポートをしてあげてほしいと思います。 ・適切。 ・留学生の受け入れも大変努力なされると思います。 ・良く取り組まれていると思います。 ・メンタル面のフォローが大切である。今後もモチベーション向上、維持を図って頂きたい。
		5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか					
		5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	学生の経済的側面の支援は、フィナンシャルアドバイザー研修を受けた職員によって①入学前②入学後において個別相談を実施している。学費相談を受けた学生個人に応じて、学費支払いと奨学金制度での資金のやり繰りにおいてシミュレーションを実施している。学生支援機構においては借り過ぎ防止にも努めている。 健康面については、学校健康法に基づき4月の健康診断の実施、必要に応じて再検査の案内を行っている。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金・学びなおし支援金など複数の学校独自の支援制度を活用し、個々の学生の状況に応じたサポートを行う。特に奨学金の借り過ぎ防止の対策と卒業学年においては就職状況も把握することを努めていきたい。健康面においては、再検査の受診率100%を目指す。	4	・学が意欲のある学生が金銭面や健康面で学習や学校生活をリタイヤすることのないように願っています。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
		5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか					
		5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか					
		5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか					
5	学生支援	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	本校のミッションである職業人教育や就職、学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っている。	入学直前にオンラインによる保護者説明会を実施。学校の考え方、支援方針と体制をご理解頂き、保護者に学校との協力をお願いしている。	4	・きめ細かな保護者連携をされている様にお見受け致します。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・良く取り組まれていると思います。 ・保護者との連携を図っている。学校の方針や体制を伝えれる環境作りをしている。 ・適切である。
		5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	卒業生との(業界)連携はますます重要になってくると考えられ、学科ごとの卒後研修を充実させる必要がある。 現在、求職や開業相談、法改正に基づく変更点など様々な情報を発信している。 産学連携による再教育に関してはSNSなどを活用し、業界団体また関連職種が開催する講習会等の案内を伝達し参加を促している。	SNSなどを活用し卒業生の近況の情報収集を行い、必要に応じて卒業生への支援を実施している。 卒後教育に関しては卒業生の勤務状況や学校行事等の兼ね合いより実施できていない現状であるが、令和5年度はコロナ禍の収束状況を鑑みて、前回の学校関係者評価委員会にてコメントを頂いた回答から徐々に開催が出来ればと考えている。	3.6	・コロナ禍が収束に向かっていきますので、様々な学校行事、教育活動が活性化されていくことを期待します。 ・SNSの利用は必須だと思います。先生方もこれらの研修もあっても良いかと思います。 ・ほぼ適切。 ・卒後研修の連絡が取れる卒業生は、何%でしょうか。 ・良く取り組まれていると思います。 ・保護者との連携を図っている。 ・範囲の決め方が難しい所で、現状は十分であると考える。
		5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか					
		5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか					

6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	厚生労働省による「介護福祉士養成施設指定規則」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設指定規則」に従い、設備・教育用具等を整備している。	教育効果とその必要性を検討し、実習施設の拡充、教育用具等の充実をさらに図る必要がある。	4	・費用がかさむ部分ですが、計画的な整備計画を実施下さればと思います。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・法に従い整備されている。・適切である。
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	新型コロナウイルス感染防止による影響により海外研修は実施できていない。学外実習においても影響は受けているものの限られた範囲内での充実した実習プログラムや代替え学内実習にて対応を行っている。	学外実習は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、一部学内実習に切り替えた。海外研修は外務省より渡航中止が発令されたためともに中止とした。	4	・コロナ5類移行しましたので、いよいよ再開を楽しみにしています。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。・適切である。
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	想定される災害に対する防災体制は整備されており、緊急連絡メールシステムが設置されている。消防訓練は、消防署員立会いの下で年1回行っており、評価を翌年に生かし改善している。緊急地震速報対応訓練も行っており、AEDは設置済みで月1回の点検を行っている。また、損害保険などにも加入している。	緊急時により近い消防訓練を行うため、各担当者の役割を越えた訓練を通して安全管理体制を強化する。また2022年度は教職員のうち役職者全員が防火管理者の資格取得を目指し研修を受講した。引き続き2023年度にも受講予定で、教職員の半数が防火管理者の資格取得をしている事になる予定である。安全衛生推進者の資格取得も受講済である。教職員は、AED利用講習会は受講しているが、緊急時に活用できるかどうか定期的な研修を実施している。	4	・災害の類も様々ありますので、それらに沿った色々なシミュレーションの訓練をして頂けたらと思います。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・緊急時に動ける体制作りを図っている。 ・適切である。
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	兵庫県専修学校各種学校連合会の規定に基づき、募集開始時期、募集内容(入試日程・入試制度・特待生試験・学費明記など)を決めている。入学案内は、三田校と共通のもので、学校・学科・設備・在校生、卒業生紹介・就職支援や実績・オープンキャンパス等が理解できる様に編集し、それを基にホームページも整備している。個人情報取扱委員会を設置し情報を管理している。	モチベーションの維持・強化をするために、入学前にはオープンキャンパス→入学前教育を実施し、入学後の授業や学生生活、職業観を意識した形での教育を実施し、スムーズに専門教育に取り組める様していく。また同時に職業に関する啓蒙活動にも取り組んでおり、業界と連携し、中学生のトライやるウィークでの介護職経験の実践の機会を提供している。今後一層拡大していきたい。	4	・介護の仕事を目指す人が一人でも増えて欲しいと願っています。施設でもトライやるウィークにも積極的に取り組んでおります。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか					
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通りに選考をしている。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施している。また、選考終了後は判定会議により可否を確定する。面接、提出書類、選考試験の結果を踏まえ、将来医療・福祉の業界で働くことに適性があるかを総合的に判断している。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、面談の比重を高めている。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気を重視した入学選考を継続する。	4	・やる気や適性を総合的に評価されることはミスマッチを防ぐ為にも大切なことだと思います。 ・適切。 ・良く取り組まれていると思います。 ・選考方法がある。適性があるか総合的判断も必要であり、実現している。 ・適切である。
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
8 財務	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は、各学科の教育目標達成を目指した学校運営に必要な金額であり、人件費、実習費、施設運営費等に当てられている。毎年、各学科において教材及び担当講師の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出をチェックしている。各学科から提出された案を元に運営会議にて検討され、決定をしている。また、入学辞退の取り扱いについては、募集要項に明記して対応している。	入学以前の募集要項や説明会において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすい。また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたつてのアドバイスを実施している。	4	・諸費用の無駄な支出をチェックされているのは漫然とした運営を防ぐ為に効果があると思います。 ・適切。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・明記対応している。不明点なし。 ・適切である。
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか					
	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画は中長期的な視点で考えているため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていく。	安定した運営を継続的に行うため、各学科における1学年の募集定員、介護福祉士科40名、鍼灸科30名、精神保健福祉士科40名の定員充足率100%を目指し、退学率4%以内を目指す。また2023年度には夜間部一年課程の学科を申請しており、間もなく認可申請中として広報活動を実施する予定である。	4	夜間部、社会福祉士科の申請とのこと、とても楽しみです。 ・適切。 ・社会福祉科の増設により活気づくことを願っています。 ・良く取り組まれていると思います。 ・新学科を作成している。社会福祉系の強化を図っている。 ・適切である。
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか					
8 財務	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	5ヶ年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の機会 でチェックするためにより現実 に即した予算編成になっているもの と考える。学校の財務体制を管理し、健全な学校運営ができるように予算・収支計画は有効かつ妥当な手段として利用されている。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。	4	・法人内で複数のチェック過程があるということは精度も上がりとても良いと思います。 ・適切。 ・問題なし。 ・良く取り組まれていると思います。 ・特になし。 ・適切である。
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか					
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	私立学校法に基づく業務並びに財産の状況について監査を実施している。現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成している と考える。監査を有効に実施するため、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	内部・外部両監査時における改善意見について記録し、適切かつ迅速に対応する。	4	・内部監査も設けておられ、良いことだと思います。監査基準が大切ですので、明確化を常にお願 しいたいと思います。 ・適切。 ・問題なし。 ・良く取り組まれていると思います。 ・特になし。 ・適切である。
	8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	財産目録、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など財務情報公開の体制整備は出来ている。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局長が責任者として担当する。また、事務担当者を置いて現場対応を行っている。＜公開書類＞1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書	4	・法令遵守されていることと思います。引き続き宜しくお願いします。 ・問題なし。 ・良く取り組まれていると思います。 ・特になし。・適切である。

9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	4	・コンプライアンスは今の時代に何よりも大切と考えます。この調子でお願いします。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・特になし。・適切である。
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	学内で個人情報保護規定を定め、個人情報取扱委員会が中心となり運用している。教職員に対しては、個人情報保護責任者は認定CPOアカデミック講座を通して、学校等における個人情報管理責任者として必要となる知識を毎年習得。教職員は、認定CPAアカデミック講座を通して学校等における個人情報取り扱い従事者として個人情報を取り扱うために必要となる知識を習得した。それぞれ更新講習に取り組んでいる。学生と講師に対しては、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記している。教職員はもちろん、学生と講師に対しても、オリエンテーションなどにおいてITリテラシーについてや個人情報保護について冊子を用いて伝えている。	4	・現在、ランサムウェアの恐怖がすさまじい物となっています。ITリテラシーの向上は、学校、法人を守ることとなると思います。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・適切である。
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	年1回自己点検・自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見収集し、その結果をホームページに掲載している。	学校関係者評価結果に基づき短期的・中長期的課題の整理を行い、改善に取り組む。	4	・いつも学校評価を謙虚に受け留め改善していこうとされている姿がとても伝わってきます。その姿勢でおられると学校がどんどんと伸びていかれると思います。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・年2回実践し、ホームページ上にアップしている。 ・適切である。
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか					
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
10 社会貢献・地域貢献	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4	教育情報については、自己評価・自己点検の結果等と合わせてホームページに掲載している。	ホームページに掲載している教育情報については、必要に応じて更新をする。	4	・ホームページが生きたものになりますように更新をお願いします。 ・問題ありません。・適切である。 ・良く取り組まれていると思います。・過去5年分している。特に問題なし。
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか					
	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	教育資源を活用した社会貢献については、近隣の福祉施設、高等学校、関連団体とある程度の連携・交流は出来ている。	コロナ禍による活動制限があるなかではあるが、活動の可能な範囲で実施しており、2023年度はコロナ禍以前の稼働に戻す予定である。	3.9	・コロナ禍で滞りがちであった社会貢献、地域活動について、また活性化していくことを願っています。 ・コロナ移行後、施設に来て下さるチャンスも増えていくと思い、楽しみにしております。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。 ・特に問題なし。・適切である。
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	10-37-1 学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	コロナ禍、活動制限により積極的には学生の参加は見合わせたが、今後は各種の行事などへの参画も増えてくることが予想される。 コロナ禍以前は積極的に対人援助職に求められるコミュニケーションスキルの向上に役立つため、学生への参加を促している。	地域防災ボランティアや地域健康増進推進事業、実習前施設レクリエーションへの参加や地域清掃を実施している。	3.9	・ボランティアやアルバイト等、職業に触れて頂く場を提供したいと思いますので、是非お越し下さればと思います。 ・ほぼ適切。コロナ前に戻ることを期待する。 ・問題ありません。 ・良く取り組まれていると思います。・地域への参加を促している。コミュニケーション力アップを図っているので良い。特に問題なし。・業界的にインターン制度が整っていないため、学生の積極的参加は難しいと思う。現状で適切である。